

学生の皆さんへ

教務委員会

## 新型コロナウイルス感染拡大防止の下で「対面授業」を継続するために

対面授業を継続するために、学生の皆さんは、引き続き新型コロナウイルス感染の防止に、徹底して努めて下さい。

### (1) 授業時における注意事項

- ① 受講者数に応じて、講義室が、時間割に記載の教室から変更する場合があります。Gmailや掲示で確認してください。
- ② 必ずマスクを着用してください。
- ③ 教室に入るときは、手指消毒用アルコールで消毒して下さい。
- ④ 教室の中では、密集、密接を避けるため、担当教員の指示に従い、座席の間隔をとって着席してください。
- ⑤ 教室の換気に努めるため、教室入口の扉は常時、窓は30分に1回開放しますので、体温を調節できる服装を心がけてください。
- ⑥ 授業前、机等の共用物を教室備え付けの消毒用スプレーとペーパータオルで拭くようにしてください。
- ⑦ 私語をしないでください。

### (2) 授業外における注意事項

#### ○ 登校前

- ① 毎朝登校前に必ず検温を行い、「健康観察記録表」を利用して、健康状態を確認してください。発熱等、風邪の症状、味覚障害、等の体調不良がある場合は、無理をして登校しないでください。

#### ○ 登校するとき

- ① マスクは、通学時も着用してください。
- ② 人との接触はできるだけ避けてください。
- ③ 公共交通機関等で、不特定多数が接するところに触れた場合は、大学に登校したら必ず手指を消毒してください。

#### ○ 学内生活

- ① 必ずマスクを着用してください。
- ② 登校したら、サーマルカメラで検温を心がけてください。
- ③ 手指の消毒と咳エチケットを徹底してください。

学内は、机、イス、ドアノブ、スイッチ、文房具等共用物が大変多いです。

- ④ 3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を徹底して避けてください。
- ⑤ 教室や学生ホールで昼食をとる際は、向い合せにならないよう距離をとって座り、黙食を心がけてください。また、十分に換気を行ってください。食後は、使用した机等を備え付けの消毒用スプレーとペーパータオルで拭くようにしてください。
- ⑥ 図書館、コンピュータ室、ピアノ棟、学生ホール、食堂等は、各施設の利用方法にしたがって利用してください。密集、密接を避けるため、状況により入室を制限する場合があります。

※ **課外活動**は、「令和3年度 東北文教大学課外活動ガイドライン」にしたがって行動してください。

#### （４）日常の感染予防について

「自分が感染しない」「他の人に感染させない」を徹底して心がけてください。

- ① こまめに丁寧な手洗い、手指消毒、咳エチケット、人混みを避けるなど感染症予防対策を徹底してください。
- ② 十分な栄養、睡眠を確保し、毎日の体温測定など、適切な健康管理を行ってください。
- ③ 発熱や咳等、体調の悪い場合には、登校せず、自宅で療養してください。
- ④ 友人等とのいわゆる「飲み会」を控え、また、多人数との会食は控えてください。
- ⑤ アルバイトは3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けてください。
- ⑥ **教育実習や施設実習等を予定している者は、「実習時の対応」に従って行動してください。**
- ⑦ 緊急事態宣言が発令されている地域や、感染が拡大している地域への不要不急の移動は控えてください（就職活動等をやむを得ず移動する場合は、移動先で感染防止を徹底してください）。

#### （５）感染が疑われる場合の対応について

- ① 以下の症状がある場合は、居住地の「新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）」（Tel:0120-880-006）に連絡し指示を仰ぐと共に、保健センター（Tel:023-688-3537）又は学務課（Tel:023-688-2717）、若しくは代表電話（Tel:023-688-2298）に連絡してください。

[相談・受診の目安]

- ・ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
- ・ 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合。
- ・ 上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合。

(症状が4日以上続く場合は必ず相談する。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合にはすぐに相談する。解熱剤などを飲み続けなければならない場合も同様とする。)